

第29回HL7セミナーのご案内(横浜、11月22日)

■ 日時: 平成20年11月22日(土)13:00 から15:00 まで(受付開始 12:30～)

■ 会場: [パシフィコ横浜 会議センター4F419 \(JCM12009 H会場\)](#)

■ 主催: 日本HL7協会

■ 司会: 情報教育グループリーダー 高坂 定

プログラムや講師などに変更がある場合がございますので予めご容赦ください。

■ **テーマ:**相互運用性実証事業の成果～「電子カルテシステムのデータ移行」
医療の向上、業務効率化等を目指して、全国各地の医療機関において情報システムの導入が図られている。厚生労働省の進める「保健医療分野における情報化にむけてのグランドデザイン」(平成13年12月公表)により電子カルテシステムが進み、当時電子カルテを導入した施設がレベルアップの時期を迎え様としている。そこで問題となるのは、データ移行である。画像はDICOM 規格、検査結果や処方箋はHL7規格といった標準的データ形式があるため、これらのデータはメーカーを替えても安価に移行できるが、電子カルテの所見や看護記録の記載に関しては、標準的データ形式がないため、もしメーカーを替えようとする、莫大なデータ移行費用がかかる。そのため、経済産業省は、平成17年から19年まで異なるベンダーシステムの組み合わせであっても容易に相互運用が可能となることを目指して「医療情報システムにおける相互運用性の実証事業」を推進してきた。
今回のセミナーでは、今後の皆様の電子カルテレベルアップのご参考に相互運用性実証事業の成果と実証事例として「異なるベンダー間システムのデータ移行」をご紹介します。

1. HL7入門 13:00～
技術委員 東京医科歯科大学准教授 中谷 純先生
【概要】HL7の最新動向とHL7の入門についてご講演いただきます。
2. 相互運用性実証事業の範囲について 13:20～
JAHIS 標準化推進部会 副部長 篠田 英範先生
【概要】相互運用性実証事業の対象範囲と仕様概要についてご講演いただきます。
3. 相互運用性の必要性「電子カルテシステムのデータ移行のあり方」 13:50～
技術委員長 浜松医科大学 教授 木村 通男先生
【概要】相互運用性事業の成果と電子カルテシステムのデータ移行のあるべき姿についてご講演いただきます。
4. 相互運用性の実際～「異なるベンダー間のシステムデータ移行の実際」(仮題) 14:20～
公立置賜総合病院 医療連携部長 山田 昌弘先生
【概要】異なるベンダー間の移行に成功された、その状況と課題などをご講演いただきます。

■ 参加費: 日本HL7協会会員は無料 一般5,000円(資料代、当日会場で申し受けます)

■ 申込み方法:

[受付フォーム](#)から氏名、所属/会社名、所在地、会員または非会員(会員は会員番号記入)、e-mail アドレス、電話/FAX番号など必要事項をご入力の上
11月10日までにお申し込み下さい。定員(120名)になり次第締め切らせて頂きます。

■ お問合せ先/事務局:

東京都港区虎ノ門1丁目19-9(虎の門TBLビル6F) 〒105-0001
保健医療福祉情報システム工業会内 日本HL7協会事務局
TEL(03)3506-8010 FAX(03)3506-8070 担当 [豊嶋](#)